

## 「2018函館マラソン」準備状況

～ はじめに ～

函館マラソン事務局です。

皆様、来年7月1日（日）に、「2018函館マラソン」開催の運びとなりました。

函館マラソン大会実行委員会では、フル化後2回にわたる開催実績を基として、それでもなお数多くの問題や課題が残されている状況などを冷静かつ客観的に分析しながら…最終的には次回の大会がより多くのお客様にお喜びいただけるものとなるよう、目下全力で各種のチューニングに努めているところであります。

「神は細部に宿る」という名言がありますね。

マンパワーを含め我々の手許にある経営資源は限られておりますが、それでもなお八方向を尽くせば「できる」と思いきことは限界までチューニングする。そのような覚悟で取り組んでまいります。

…とはいえこの作業、結構大変です。

まず、諸々の協議には「相手」が居ます。また「費用」の関係もあります。そして多くのランナーからお寄せいただいた「ご要望」の中には、見解が真逆のものもありますので…フル化2回の開催実績を経てしても悩み多き日々ですね。

でもまあ函館マラソンにご参加をいただいた経験のある方には「前より成長してる！」と喜ばれ、初めての方にとっては参加することが「憧れ」となるような大会となるよう、これはもうまっすぐに進んでいくしかありませんね…何しろそうした努力の先には必ずや「日本一」の栄誉が待っていると信じておりますのでふふ。

…ということで、これまでと同様に諸々のコトの進捗状況を、これもまたいつものながらの筆致でこの場にだらだらと書き込んでまいりますね。ですから皆様方におかれましては、これはもう定型句となりましたが、普段の練習の「脚休め」の場として、まったりとしながらそうした諸々の成り行きをお楽しみいただければ幸いに存じます。

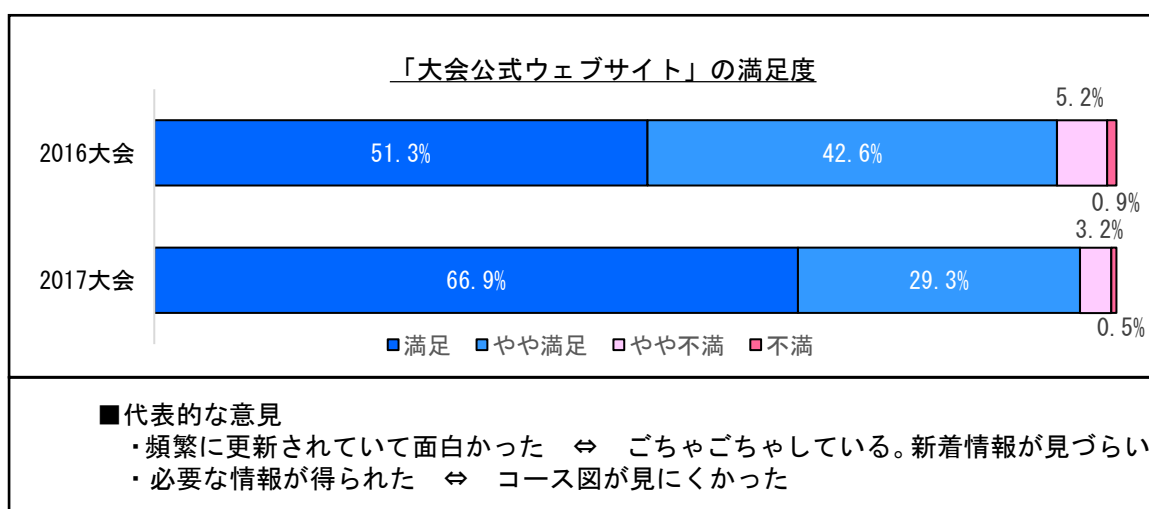
なお今回は、この散文の更新頻度や回数がどのようなものになるのか全く見通せない状況であるということを含め申し添えます（要するに不定期配信ということ。「相手」や「費用」、「要望」など諸事項をクリアしたものしかアップできませんので…）。

さあ、「2018函館マラソン」準備状況、スタートいたします。

～ 第1回 「公式ウェブサイト」について ～

函館マラソンの改善策として最初にあげる項目が「公式ウェブサイト」というのも何ですが…。

実は「函館マラソン」サイト、今年の大会からフェイスブックを実装したりインターフェイスを見直すなど諸々の工夫をしてまいりました。しかしながら思いとは裏腹に、アンケート（※17大会参加者アンケート）を見ると内容はともかくとして「見にくい」の声が大きくて。



「見にくい」の最大の理由ですが、大会関係の様々な情報発信を行ってきた我等のウェブサイト、開設以来さまざまな情報をどんどん「増改築」しながら膨らませてきたことから、自分でも全容を把握できず戸惑うことの多い状況なのであります。ですからまずはそうしたコンテンツの精査が必要です。

また、スマホなどで情報を取得する方の比率がどんどん高まっている中、デザインなどの全面的なリニューアルを行うことで、より手軽に必要な情報を入手できる、そんなウェブサイトとしたいと思っております。この辺は拙文が代表格ですね。わかっています。ページ数も多いし長文だし自分でもどこに何を書いたのかもおぼろげで…ね。

ということで、それやこれや諸々への適切な対応と、実のところ我々素人には取り扱いが難しく、更新も一筋縄では行かない現行の管理システムの改修なども含め、当ウェブサイト全般のリニューアルを実施いたします。エントリー検討のための情報収集にも、当日に向けた準備にも対応する、皆様のお役に立てるウェブサイトに生まれ変わりますので、2018年1月中旬の公開をお待ちください。

## ～ 第2回 「ゴミ問題」の解決について ～

改善すべきところは沢山ありますね。その一つが「ゴミ問題」。正直に申し上げてコース上にスポンジや紙コップが散乱しているというのは、少なくとも嬉しい風景ではありませんね。何しろ美しい景観を誇る函館で開催されるマラソンなのですから、そんなのは解決しなければダメです。

とはいえ費用の関係もあってゴミ箱を大量かつ無計画にコース上に配置するというわけにもならないなか、8千人規模の大会となって間もない当マラソンは、その辺を最適化するノウハウが少ないこともあって…実は過去2回にわたり惨憺たる状況を呈してきたのであります。

「ゴミ箱なんざカネをかけてたくさん置けばいいじゃないか？」と仰る方も多いのですが、そのお金、どうせ使うのならばフードの充実など大会自体の発信力や魅力の向上に繋がる部門に投入したいものだ…などと、悶々としておりました。

そんなときに救世主登場。この案件、地元経済会の新ドンに相談したところ「ゴミ箱だろ？」、「段ボールなら組み立ても簡単だしいいよな」、「オレ、段ボール屋さんの社長を知っているから、その人に頼んでみるわ〜」。そして後日、「言っておいたから」と。

実は私にとっては何だか懐かしき思い出のあるその(株)ホリカワ社、私が高校1年の多感な頃、一夏の経験…いえいえ夏休みの間アルバイトをしていた会社なのであります。なんと奇遇。

で、その会社との打ち合わせの際のこと。社長氏に対し、自分はひと月ものあいだ御社でバイトをしていたので段ボールの製造工程を一通り覚えていること、工場の主的な怖いおじさんがいたこと、若くて剽軽な事務員さんがいたこと、勝ち気な女性の事務員さんと工場勤務のキレイな女性との間で冷戦があったこと…などを丁寧に説明し、結果、大量のゴミ箱のご提供に加え風倒防止策や雨対策のアイテムも含めて「ご協賛」いただけることになったのであります。

あとは配置と回収の工夫だけです。この点、メガマラソンにおけるゴミ対策を勉強してまいります。18大会の当日は、ランナーの皆さんもホリカワ社オリジナルデザインとなる予定のゴミ箱を大いにご活用いただきたく、よろしく願いいたします！



来年は「キレイに」、「気持ちよく」を皆で追求したいと思います！

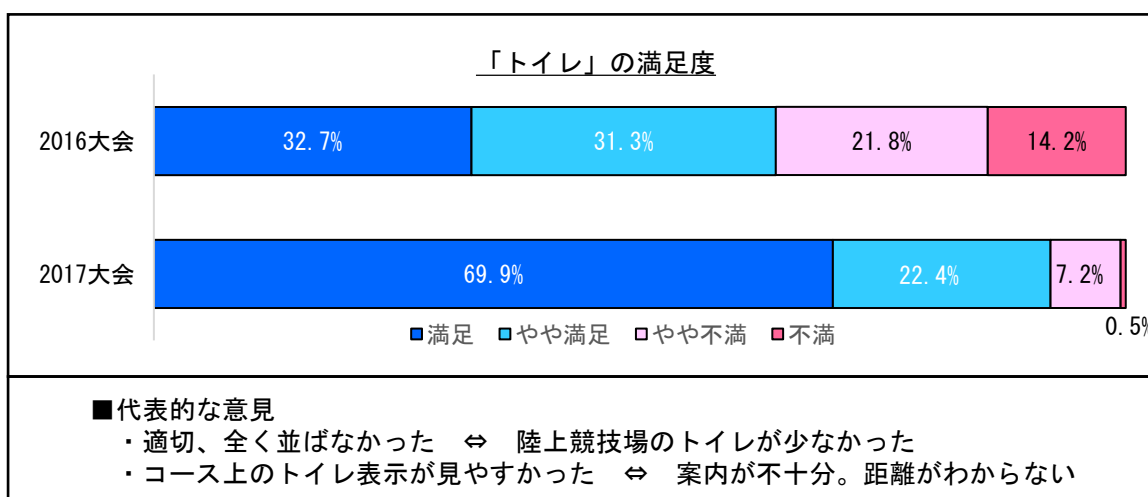
### ～ 第3回 「トイレ問題」の解決について ～

16大会の開催を通じて多くの方からご指摘をいただいた「トイレ」について。17大会に向けては控えめに「60基ぐらい増やしましょうか？」という担当くんの声を押しつけて、何の根拠もなく「純増100基だ！」とハッパをかけ臨んだのであります。

このトイレ。やはり頼りになるのは経済界の重鎮。前回、この場に登場した新ドンに相談したところ、「トイレ？なんもなんもオレのところであまくやってやるから」、「心配すんな」というあたたかいお声がけをいただいて安心したのであります。

事実、氏の会社からはお金に換算するととんでもない額の役務提供をいただき、見事その100基が函館マラソンのコース上と、スタート・フィニッシュ地点に並ぶこととなりました。

で、17大会は、ことトイレに関しては「もう大丈夫だよな」と安心しておりましたが、参加者アンケートを見ると↓↓↓



…と、多くの方に喜んでいただいた一方で、スタート前の段階でトイレ待ちの行列ができたことから少なからぬマイナス評価が発生したのであります。千代台公園内のトイレの総数は、昨年に比して仮設分が16基増えたこともあって、十分に間に合うと算段していたのであります。

このような状況を踏まえ、18大会ではトイレの数（および質）のさらなる充実を図ります。かかる費用は…再度新ドンに相談いたします。このほか17大会では比較的空いていた陸上競技場と野球場のトイレの利用を促す（※新たに「トイレ案内人」を配置予定！）とともに、コース上トイレについても混雑時の案内充実を図るため「次のトイレまで〇キロ」という表示を加え、皆様の安心感の醸成に努めたいと思っております。